

平野区

うお〜くらり〜



お願い

- 各コースともいつでも自由に参加できますが、ゆったりとした計画でご家族や友人と気軽に歩きましょう。
- 交通ルールを守り、とくに自動車などの交通事故に注意しましょう。
- 各ポイントには、スタンプの設置時間の制限や休みなどの場合がありますので、ご注意ください。なお、スタンプのない所ではクイズなどもお楽しみください。
- この「平野区うお〜くらり〜」に参加されて、わがまち平野区の再発見をしていただき、アンケートにお書きください。今後の区行政の参考とさせていただきます。
- 全コースのポイントを歩かれた方は区役所または（財）平野区コミュニティ協会（平野区民センター内）で完歩証明記念スタンプを表紙裏に押印します。
- このスタンプ帳は、1人1冊、複数冊での参加はできません。（参加中の事故・ケガ等については、主催者は一切責任を負いません）

主催 **平野区役所**
財団法人 **平野区コミュニティ協会**

※区民の参加によってできた“平野区いろはかるた”の読み札をのせています。



トイレ設置

加美コース

約7.6km

- | | |
|----------|-----------|
| ① 加美出張所 | ⑧ 屋上芝生広場 |
| ② 奥田邸 | ⑨ 旭神社 |
| ③ 菅原神社 | ⑩ 坂上廣野磨の墓 |
| ④ JR加美駅 | ⑪ 含翠堂跡 |
| ⑤ 畠山政長の墓 | ⑫ 平野環濠跡 |
| ⑥ 正覚廃寺 | ⑬ 杭全神社 |
| ⑦ せせらぎの里 | ⑭ JR平野駅 |

地名の由来

●加美（かみ）

生野区の巽から加美にかけての一带は、もともと中国大陸から渡来した大地首一族が住みついて集落を形成した地域である。

加美の地名については、正倉院文書の神龜4年（727年）の「勘籍」に、「河内国渋川郡賀美郷・飽田史真人」の名が見えるのが記録に表われたのはじまりである。

享保15年（1730年）に書かれた賀美郷橋島荘社縁起（旭神社社宝現存）をはじめ大阪府誌などいくつかの古文書に「賀美郷」の文字が出ており、これから想像すると、正覚寺を中心とした一带がむかしの賀美郷だと考えられる。

むかしの渋川郡に賀美・余戸・邑智・跡部・竹瀨の5郷があり、邑智郷の上（かみ）にあったので賀美の名が生まれたとする説もある。

また、鞍作は、鞍部・鞍作氏から、正覚寺は寺名から、それぞれ名付けられたといわれている。

加美コース

1

ひらのくやくしょ かみしゅつちようしょ
平野区役所 加美出張所



●所在地：加美鞍作1-9-3 ☎6791-0446

●スタンプ設置場所：窓口受付●9：00～17：30●土・日・祝日・年末年始休み

○平成12年国勢調査
・世帯数 16,230世帯
・人口 41,033人
男 20,381人
女 20,652人

○平成15年度 加美出張所管内 人口動態
出生 475人 死亡 265人
転入 2,371人 転出 2,504人

加美コース

2

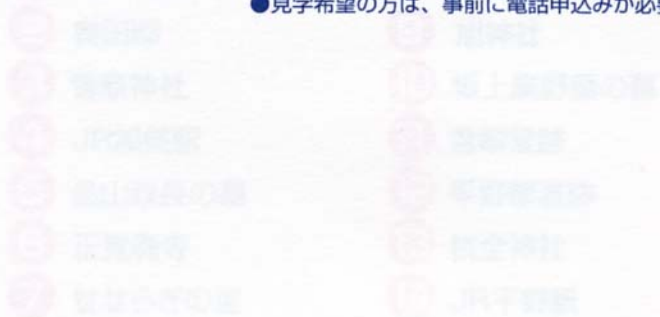
おく だ てい
奥 田 邸



●所在地：加美鞍作1-8-5 ☎6792-2695（保存会）

●スタンプ設置場所：保存会（正門の西側）●公開は毎月第1および第3日曜日●10:00～16:00

●見学希望の方は、事前に電話申込みが必要です。



奥田家は、代々鞍作の庄屋をつとめていた。現在の屋敷の建築年代は明らかではないが、手法から江戸時代初期の豪農の家と考えられる。市内に残る数少ない民家である。敷地をはじめ、主屋・座敷・長屋門・納屋など全体としての姿を知ることができる貴重なもので、国の重要文化財に指定されている。

こ
紺のれん
昔を今に
奥田邸

加美コース

3

すがわらじん じゃ
菅原神社

●所在地：加美鞍作1-5-17 ☎6792-6425

●スタンプ設置場所：社務所 ●9：00～17：00

あめのこやねのみこと

もと天児屋根尊を祀り橘宮と称したが、のちに天神社と称して、菅原道真公を祀る。創建の年月は明らかではないが、鬼門除けの神として信仰を集め、境内の砂を持ち帰る風習があった。明治5年村社となり、さらに40年10月南鞍作村の無格社天照皇大神社、41年10月鞍作、新家村の村社菅原神社を合祀した。しかし、新家村の天神社は近時旧地に戻って独立した。神社奥には、鞍作、南鞍作、新家の三ヶ村を潤した三鞍作用水樋門の記念碑がある。

す
菅原の
神社に香る
梅一輪

加美コース

4

か み え き

JR加美駅



●所在地：加美鞍作1-1-37 ☎6792-3377

●スタンプ設置場所：駅長室

○平成14年度中の1日平均乗車人員
・10,681人
(定期客 7,477人・定期外 3,204人)

加美コース

5

はたけ やま まさ なが はか
畠山政長の墓

●所在地：加美正覚寺2-6

●クイズ：墓所右側奥の石碑に刻まれている明治時代の将軍の名前は？ 答え

将軍



畠山政長は、室町幕府管領（将軍を補佐し政務を統括する職名）で河内・紀伊・越中の守護をも兼ねていた。

管領畠山持国のとき、その家督相続をめくり持国実子義就と甥・政長との間に争いが起った（応仁の乱の一因）。政長は将軍足利義材（義植）と共に正覚寺に本陣をおき、義就と対陣し、義就の死後河内の平定にのり出した。しかし、明応2年（1493年）義就の子義興の逆襲にあい、あえなく敗北した。この兵火のため、壮大を誇った正覚寺の伽藍も焼失した。

世にいう「正覚寺合戦」である。

しょうかく はいじ

正覚廃寺 (東之坊)

●所在地：加美正覚寺2-8-5

●クイズ：正覚寺合戦は何年ですか。 答え

明応

年



正覚寺は成等山と号し、淳和天皇天長2年(825年)弘法大師の開創で、境内四町四方にわたり観音堂、金堂、講堂、六時堂のほか、山門廻廊など壮大で美しく、東之坊ほか五坊を有する大寺院であった。大師作十一面観音を本尊として(現在当坊の本尊)幅広い層の人々の信仰を集め、楠木正成もしばしば参詣したといわれるが、明応2年(1493年)いわゆる正覚寺合戦により、壮大を誇った加藍がらんも焼失し、以来廃寺となった。

①
正覚廃寺
政長公が
夢の跡